



山岳寺院の奥の院を拝し、世界遺産の銀の道を歩く

4名から催行決定

国宝・投入堂と石見銀山やなしお道 4日間

鳥取・島根

2022年 4月 26日(火)~ 29日(金・祝)

※現地(鳥取・米子・出雲)集合・解散でのご参加も承ります。詳細はお問合せ下さい。

旅行代金 おひとり様 **188,000円** (新千歳発着) **148,000円** (現地発着)



断崖絶壁に建つ国宝・投入堂。7~8世紀に生きた修験道の開祖・役行者が法力で投げ込んだとの伝承が残る神秘の建造物です

[利用予定航空会社] 全日空、日本航空など
[利用予定ホテル] 三朝温泉/清流荘 松江しんじ温泉 /松江ニューアーバンホテル 玉造温泉/松乃湯 温泉津温泉/輝雲荘 または各地同等クラス
[食事]朝3・昼0・夕3 **[最少催行人数]**4名(最大8名)
[1人部屋利用追加料金] 20,000円(3泊)
[添乗員(ツアーリーダー)] 新千歳空港から全行程同行
[現地ガイド] やなしお道ハイキングには現地案内人同行。それ以外はツアーリーダーがご案内します

ポイント

- 1 木の根の道やクサリ場を登る修験道の山道をたどり、山岳寺院の奥之院「投入堂」を拝観
- 2 世界遺産・石見銀山から尾道へと延びる銀の輸送路「銀山街道」。その中から当時の面影を最もよく残す「やなしお道」約7.2kmをガイド同行でウォーキング!
- 3 日本史に詳しいツアーリーダーの歴史解説付き
- 4 山陰を代表する名湯・古湯に3泊でゆったり温泉三昧

三徳山三佛寺「投入堂」

8世紀、修験道の行場として開かれた天台宗の古刹・三佛寺は、標高900mの三徳山に堂宇が散らばる山岳寺院。その奥之院である投入堂は、山肌の絶壁に建ち、今もその建立方法には謎が多い貴重な建築物で国宝に指定されています。長く建造時期は不明でしたが、近年平安時代後期の建立と判明、今も当時のままの木材が使用されています。その道のりは「カズラ坂」、「クサリ坂」を始め、幅の狭い岩尾根などを通る行場ならではの少々スリリングな登山道で、往復2時間ほど。動きやすい服装、滑りにくい靴、両手が自由に動かせるスタイルであること、ポールの使用は禁止など入山には制約があり、また荒天時は入山禁止となります。天候が良ければ文殊堂や地藏堂など、点在する重文の御堂から「六根清浄」の輪袈裟を身に付けて入山

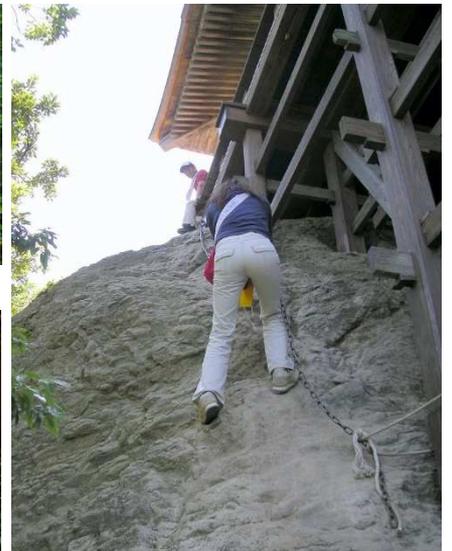
「六根清浄」の輪袈裟を身に付けて入山



木の根が入り組んだ急斜面・カズラ坂



行場道(投入堂への道)の入口・宿入橋



文殊堂脇の大岩を登るクサリ坂

写真提供:鳥取県

国宝・投入堂と石見銀山やなしお道を歩く 暫定行程表

	日	地名	行程	食事
1	4/26 (火)	新千歳 / 羽田 鳥取空港 または米子空港 三朝温泉	新千歳空港⇄羽田(乗り換え)⇄鳥取空港または米子空港 バスと鉄道を乗り継いで 三朝温泉 へ。泉質は世界屈指の放射能線(高濃度のラドン含有量)で、昔懐かしい湯治場の雰囲気漂います。癒しの温泉に浸かって翌日の「投入堂」登山の英気を養いましょう。 【三朝温泉泊】	一 一 夕
2	4/27 (水)	三朝温泉 三徳山三佛寺 投入堂 三朝温泉 倉吉 松江しんじ湖温泉 または玉造温泉	■ 国宝・投入堂への参拝登山 / 歩程:往復約2時間 朝食後、路線バスで天台宗の古刹・ 三徳山三佛寺 へ。本堂で入山手続きをし(服装、靴などがチェックされます)、六根清浄の輪袈裟を首にかけ、 奥之院(行者道) の入口である 宿入橋 からスタート。 木の根の急坂「カズラ坂」、文殊堂の岩場を登る「クサリ坂」、狭い岩尾根の「牛の背・馬の背」など気の抜けない山道を通って 投入堂 へ。 絶壁の窪みに建つその姿に息を呑むことでしょう。往路を下山。 境内では4月下旬から開花する ホンシャクナゲ (三朝町指定の天然記念物)の花に出会えるかもしれません。 路線バスにて 倉吉 へ。JRを乗り継いで 松江 または 玉造温泉 へ。 【松江しんじ湖温泉または玉造温泉】	朝 一 夕
3	4/28 (木)	松江しんじ湖温泉 または玉造温泉 大田市 银山公園 やなしお道 银山公園 温泉津温泉	■ 石見銀山・やなしお道ハイキング / 歩程:約4時間 朝食後、JRにて 大田市駅 へ。着後、バスにて 石見銀山・银山公園 へ。 現地案内人と合流し、車でやなしお道入口へ。14世紀の文書にその名が見られる古い銀山街道の一つ、 やなしお道 を歩きます。 ●やなしお道入口…十王堂…七本榎…一里塚跡… 三瓶山展望所 … やなしお坂 …美郷町役場。終了後、車で银山公園へ戻ります。 ※時間が有れば、银山地区～ 龍源寺間歩 を見学します。 バスとJRを乗り継いで開湯1300年の歴史を持つ古場・ 温泉津温泉 へ。 2カ所の外湯「 元湯 」「 薬師湯 」が有り、薬効の高い源泉かけ流しの天然温泉として全国的に知られています。 【温泉津(ゆのつ)温泉】	朝 一 夕
4	4/29 (金・祝)	温泉津温泉 松江 出雲空港 または米子空港 羽田 新千歳	■ 石見銀山・温泉津コースウォーキング / 歩程:約3時間30分 朝食後、宿に荷物を預けてスタート。かつて銀の積出港として栄え、現在はクラシックな町家と由緒のある神社仏閣が混在する不思議な風情の温泉街を散策します ●ゆう・ゆう館…沖泊(温泉津銀の道の終点)… 温泉津やきもの里 …温泉津の町並(元湯、薬師湯、西楽寺、 龍御前神社 、愛宕神社、西念寺など)。 JRにて松江へ。鉄道とバスを乗り継いで出雲空港または米子空港へ。 出雲空港または米子空港⇄羽田(乗り換え)⇄新千歳空港	朝 一 一

※歩程は休憩などを除いた実質歩行時間の目安です。 ※現地の諸事情により、行程の入れ替えや変更を行う場合があります。
 ※投入堂へのルートは注意して歩けば特に難しい箇所はありませんが、ハイキングや山歩きのご経験が全く無い方には厳しいかもしれません。
 自信のない方は本堂境内にて自由散策をお選びください。
 ※2～3日目の登山・ハイキング中の昼食は各自でご用意下さい。空港や駅、宿周辺のスーパーや売店にて前日に購入が可能です。
 ※宿泊場所によって歩行のスタート地点、ゴール地点が異なる場合があります。

銀山街道「やなしお道」

古くは山陰と山陽を結ぶ幹道として、江戸時代は石見銀山から尾道へ銀を運ぶ重要な道として整備された銀山街道。その一部が「やなしお道」です。銀だけではなく、やな(たくさんの)塩を運んだことが名の由来とか。道沿いには「十王堂跡」「一里塚」など様々な史跡が点在し、当時の面影がよく残る道として「歴史の道百選」にも指定されています。尾根歩きの途中で展望する三瓶山、難所「やなしお坂」のつづら折りなど、歴史と自然風景に恵まれた旧街道は、この時期、春の山野草も目を楽しませてくれます。



石見銀山が栄えた頃、温泉津港に出入りした北前船の守り神だった龍御前神社(温泉津コース)



ノスタルジックな湯治場風情が漂う温泉津温泉

山陰の名湯に3泊



世界屈指の放射能線・三朝温泉



宍道湖畔にある松江しんじ湖温泉



古代出雲の歴史が息づく玉造温泉



やなしお道の展望台から望む三瓶山。古代日本神話の「国引き神話」に登場する日本二百名山の一座です